

仕様書

1. 委託業務名

遣唐使船模型製作業務

2. 業務の目的

九州国立博物館（以下「九博」という。）は、日本とアジア、ヨーロッパとの文化交流の歴史を紹介する博物館として、2005年に開館した。

九博の文化交流展示（平常展）では、「海の道、アジアの路」というテーマのもと、日本がアジア、ヨーロッパとの交流の中で育んできた歴史のドラマを、旧石器時代から近世末期（開国）までの5つのテーマで紹介している。特に奈良・平安時代は、日本が唐から先進的な国家制度や仏教を学び、大宰府がアジアとの外交・貿易の拠点として繁栄した重要な時代であり、3テーマ「遣唐使の時代」において、渡来の文化を基盤に日本独自の新しい文化が生まれた成り立ちを、様々な美術品や文化財を通して丁寧に紹介している。

また、文化交流展示室入口前の「大宰府のおもかげ」コーナーでも、大宰府政庁南門の模型が展示され、「遠の朝廷」と呼ばれた大宰府を偲ばせる造りとなっている。

本業務は、精緻な時代考証と高度かつ専門的な技術を活用し、当時の姿を精巧に再現することで、来館者の想像力を刺激し、展示により深く興味を抱いてもらうことを目的として実施するものである。

3 業務内容

遣唐使船は、奈良時代から平安時代に、日本から唐に使節を派遣するために造られた船で、山上憶良・吉備真備・最澄・空海等、日本の政治や文化の形成に重要な役割を果たした人材が数多く乗船した。

本業務は、精緻な時代考証に基づき、高度かつ専門的な技術を活用し、精巧に再現した奈良時代の遣唐使船の模型を製作するものである。なお、業務には、設計、材料調達、船体・上部構造・艀装製作、塗装、運搬の一切を含むものとする。

【模型詳細】

- ・奈良時代における建築様式の上部構造を伴ったジャンク型構造船
- ・スケール：1.2～1.5m／30m
- ・船体材料：全木造
- ・帆装：大小2本の帆柱に竹網代帆の帆装、大帆柱の網代帆の上に麻布帆を伴う
- ・両舷に勾欄と櫓棚を備え、櫓棚下に竹束が付く
- ・櫓：棹櫓、取り外し可能なものとする
- ・舵：主舵1枚、副舵2枚
- ・船首に木石製碇と巻き上げのための轆轤を伴う
- ・甲板上の建造物は「吉備大臣入唐絵巻」（ボストン美術館所蔵）に描かれる遣唐使

船をベースとするが、奈良時代の建築様式とする。

- ・片舷の一部をくり抜くなど、船体内部構造が視認できることが望ましい（アクリルなどのはめ込みの有無は問わない。）が、具体的な方法等は、契約締結後、両者協議の上決定することとする。

4 委託業務に関する留意点

- (1) 製作に当たっては、九博職員及び九博が指定する監修者の意見を踏まえること。
- (2) 模型は、褪色・劣化への対策を考慮し、長期的な使用に耐えられるよう、耐久性や耐蝕性を十分に確保すること。
- (3) 模型製作に用いる材料については、あらかじめ、九博による確認を得ること。
- (4) 九博が認める場合を除き、再委託は禁止する。

5 納入場所

福岡県立アジア文化交流センター（福岡県太宰府市石坂4-7-2九州国立博物館内）

6 その他

- (1) 本契約締結後、10日以内に、本業務の実施スケジュール等を明記した業務計画書及び実施工程表を発注者へ提出し、承認を得ること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に定める内容について疑義が生じたときは、発注者と受託者が協議の上、定めることとする。なお、明示のない事項であっても社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。
- (3) 本業務で得られた成果品の著作権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）は、履行確認のときをもって、発注者に帰属するものとする。
- (4) 受託者は、業務上知り得た情報及び業務に係る内容を第三者に漏らしたり、その他の目的に転用してはならない。
- (5) 受託者は信義を守り、誠実に業務を履行すること。